

2006. 3.27

社団法人 日本物理学会

2005年度(2005年1月1日～12月31日)事業報告書

1. 事業の概要

1-1. 学術的会合

1-1-1. 第60回年次大会

会期：3月24日(木)～27日(日)

会場：東京理科大学野田キャンパス(千葉県野田市山崎)

講演数：3,852件

内訳：原著講演 3,590件 シンポジウム講演 207件 特別・招待講演 53件  
総合講演 2件

参加登録者数：5,057名(会員 4,866名、非会員 191名)

会員 4,866名(一般 3,248名 学生 1,618名)

非会員 191名(一般 63名 学生 128名)

総合講演：3月26日(土) 9:30～12:05

野田市文化会館大ホール(千葉県野田市鶴奉)

1. 物理教育はどこへゆくのか 60分 笠 耐(元上智大)

2. 超伝導の夢を追って 60分 秋光 純(青山学院大)

参加者数：約1,000名

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

会期：3月26日(土)

場所：東京理科大学野田キャンパス 13号館 1311 講堂

企画：市民講演会「物理を遊び、味わおう！」

講師：小川 泰(NPO科学芸術研究所 ISIA、筑波大名誉教授)

松浦 執(東海大開発工沼津教養教育支援セ)

清水祐樹(岐阜大工ものづくり技術教育支援セ)

参加者数：約300名

1-1-2. 秋季大会

1-1-2-1. 素粒子・宇宙線・宇宙物理関係大会

会期：9月12日(月)～15日(木)

会場：大阪市立大学杉本キャンパス(大阪市住吉区杉本)

講演数：472件

原著講演 437件 シンポジウム講演 25件 特別・招待講演 10件

参加登録者数：707名

会員 686名(一般 425名 学生 261名)

非会員 21名(一般 10名 学生 11名)

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

会期：9月11日(日)14:00～16:30

場所：大阪市立大学田中記念館大会議場

企画：大阪市民科学講演会

「第2回アインシュタインイヤーインオオサカ」

講師：益川敏英(京産大)「現代の素粒子論」

佐藤文隆(甲南大)「アインシュタインの四つのイメージ」

参加者数：約230名

1-1-2-2. 核物理関係大会(米国物理学会との合同開催)

会期：9月18日(日)～22日(木)

会場：リッツ・カールトン・ホテル(アメリカ・ハワイ州マウイ島)

講演数：868 件

原著講演 713 件 シンポジウム講演 100 件 招待講演 55 件

参加登録者数：900 名(日本 290 名、米国 610 名)

1-1-2-3. 物性関係を含む上記以外の大会

会期：9 月 19 日(月)～22 日(木)

会場：同志社大学京田辺キャンパス(京都府京田辺市多々羅都谷)

講演数：3,139 件

原著講演 2,914 件 シンポジウム講演 133 件 招待・企画講演 35 件

参加登録者数：3,676 名

会員 3,556 名(一般 2,247 名 学生 1,309 名)

非会員 120 名(一般 32 名 学生 88 名)

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

会期：9 月 19 日(月)13:30～15:00

場所：同志社大学京田辺キャンパス恵道館 201 室

企画：市民科学講演会

講師：佐藤文隆(甲南大)「アインシュタインの 4 つの顔」

参加者数：約 400 名

1-1-3. 科学セミナー

セミナー名：21 世紀物理の挑戦 ―世界物理年から未来へ―

会期：8 月 26 日(金)～27 日(土)

会場：牛込算筒区民ホール(東京都新宿区)

演題：11 題

聴講者：151 名(会員 68 名、大学院生を含む学生 44 名、協賛学会および賛助会員 9 名、  
一般 21 名、中高校教員 9 名)

1-1-4. 公開講座

文部科学省から科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公开发表(B)」の補助を受け、  
主に高校生、ほか一般市民等を対象に次の公開講座(聴講無料)を開催した。

1-1-4-1. 理事会企画

企画名：奇跡の年から 100 年 ―アインシュタインの 3 つの理論―

会期：11 月 5 日(土)

場所：東京工業大学大岡山キャンパス西 9 号館デジタル多目的ホール

参加者数：202 名(高校生 20 名、大学生 49 名、高校の先生 20 名、他 113 名)

補助金額：109 万円

1-1-4-2. 九州支部企画

企画名：宇宙物理学 ―過去・現在・未来―

会期：7 月 23 日(土)

場所：九州大学国際ホール

参加者数：125 名

補助金額：85 万円

1-1-5. 国際会議

1-1-5-1. 湯川国際セミナー2005：アインシュタインの遺産とその新しい展開(共催)

主催：京都大学基礎物理学研究所・湯川記念財団

会期：2005 年 6 月 27 日(月)～7 月 1 日(金)

場所：京都大学基礎物理学研究所

本会代表運営委員：佐々木節氏(京大基研)

参加者数：175 名

1-1-5-2. The 13th International Conference on Scanning Tunneling Microscopy/

Spectroscopy and Related Techniques 『SIM05』

in conjunction with The 13th International Colloquium on Scanning Probe

## Microscopy 『ICSPM13』

主催：SIM' 05 組織委員会

会期：2005年7月3日(日)～8日(金)

場所：札幌コンベンションセンター(札幌市白石区東札幌6条)

本会代表運営委員：松本卓也氏(阪大産研)

参加者数：600名

### 1-1-5-3. 量子エレクトロニクス国際会議 2005

(International Conference on Quantum Electronics 2005)

主催：量子エレクトロニクス連携協議会

会期：2005/07/11(月)～2005/07/15(金)

場所：都市センターホール(東京都千代田区平河町2-4-1)

本会代表運営委員：五神 真氏(東大工)

参加者数：

### 1-1-5-4. 第3回広島国際討論会 —複合自由度をもつ電子系の創製と新機能開—

(3<sup>rd</sup> Hiroshima Workshop - Novel Functional Materials with Multinary Freedoms-)

主催：広島大学 COE 複合自由度機能物質研究拠点

会期：2005年11月6日(水)～19日(土)

場所：広島大学学士会館(広島県東広島市鏡山)

本会代表運営委員：世良正文氏(広大先端物質科学研)

参加者数：80名

なお、上記4件の国際会議を共催した他に、30件の国際会議の協賛・後援を行った。

### 1-1-6. 国内会議

#### 1-1-6-1. 女子高生夏の学校 —科学・技術者のたまごたちへ—(主催)

会期：2005年8月22日(月)～23日(火)

場所：国立女性教育会館(埼玉県比企郡嵐山町菅谷)

本会運営責任者：鳥養映子氏(山梨大医工研)

参加者数：56名

なお、上記1件の国内会議を主催した他に、155件の国内会議の共催・協賛・後援を行なった。

### 1-1-7. その他

#### 1-1-7-1. 支部例会、支部特別企画等

本会の10支部において、例会、特別企画等の会合を開催した。

#### 1-1-7-2. 国立科学博物館、日本物理教育学会との共催事業

「自然の不思議 —物理教室—」

共同主催：日本物理学会、国立科学博物館、日本物理教育学会

会期：6月4日(土)、7月2日(土)、10月8日(土)、11月5日(土)、12月3日(土)

場所：国立科学博物館上野新館(東京都台東区)

なお、主な対象者は小学5、6年・中学生で、毎回定員20名を超える応募があった。

#### 1-1-7-3. 2005世界物理年関係

2005世界物理年委員会を中心に各種事業を開催した。主な行事は別紙添付資料の通り。

## 1-2. 刊行関係

### 1-2-1. 日本物理学会誌

第60巻第1号～12号を刊行した。A4判、月刊。

ページ数：総ページ1,582 月平均131.8ページ(予算140ページ)

刊行部数：総刊行部数220,940 月平均18,412(予算18,700)

ほかに年次大会・秋季大会のプログラムとして3月増刊号127ページ(本文)19,200部と8月増刊号165ページ(本文)18,070部を刊行した。

1-2-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)

Vol. 74 No. 1~13 の 13 冊 (No. 13 は Volume Index) を刊行した。A4 判、月刊。

ページ数：総ページ数 3,400 (Index 含まず) 月平均 (Index 含まず) 283 (予算 317)

刊行部数：総刊行部数 17,550 (Index 含まず) 月平均 (Index 含まず) 1,463 (予算 1,500)

掲載論文：本論文 320 Letters 183 Short Notes 30 Addenda 1 Comments 0

Errata 11 Invited Review Papers 4 Special Topics 26

1-2-3. 講演概要集

A4 判		第 60 回年次大会 (第 60 巻第 1 号)		秋季大会 (第 60 巻第 2 号)	
各 4 分冊	分冊	刊行部数	本文ページ数	刊行部数	本文ページ数
	1	450	132	230	41
	2	1,250	274	1,150	235
	3	1,250	220	1,230	237
	4	1,500	316	1,400	319

1-2-4. 大学の物理教育

B5 判 第 11 巻 1~3 号 (3 月、7 月、11 月) を刊行 総ページ数 162 1 号平均約 54 ページ 毎号 2,100 部刊行

1-2-5. 科学セミナーテキスト

8 月に開催した科学セミナー「21 世紀物理の挑戦 - 世界物理年から未来へ」のテキスト A4 判 127 ページ 480 部刊行

1-2-6. 公開講座テキスト

次の企画のテキストをそれぞれ刊行し、無料で配布した。

1-2-6-1. 理事会企画

「奇跡の年から 100 年 - アインシュタインの 3 つの理論 -」

B5 判 63 ページ 500 部刊行

1-2-6-2. 九州支部企画

「宇宙物理学 - 過去・現在・未来 -」

A4 判 24 ページ 250 部刊行

1-2-7. 本会編の単行本

「アインシュタインと 21 世紀の物理学」

日本物理学会編 日本評論社発行 A5 判 249 ページ 本体価格 2200 円

1-3. 国際交流・協力

国際交流・協力として、次のような事業を行った。

1-3-1. AAPPS (アジア・太平洋物理学会連合) の加盟学会として活動支援、

機関誌 AAPPS Bulletin の刊行援助、等

1-3-2. ASPEN (Asian Physics Education Network) への協力

1-3-3. 開発途上国からの投稿者への JPSJ 別刷代援助

1-3-4. 開発途上国等への JPSJ の寄贈

1-3-5. IUPAP (International Union of Pure and Applied Physics) 関係

1-3-5-1. Women in Physics リオ会議への参加

1-3-5-2. 南アフリカ会議への参加・支援

1-3-5-3. 国際ワークショップ Asian Women in Physics (Pohang) への参加

1-4. 図書雑誌および物理学史資料の供覧

本会所蔵の図書・雑誌、物理学史資料を会員の利用に供した。

1-5. 第 10 回論文賞の表彰

JPSJ および PROGRESS に掲載された論文の中から、優れた論文 4 篇を選び表彰した。

1-6. 日本学術会議および文部科学省等への協力

日本学術会議、物理学研究連絡委員会 (物研連) 活動への協力を行った。

1-7. 中央教育審議会への要望

標記審議会へ初等中等教育および教員養成専門職大学院設置に関する要望を行った。

- 1-8. 物理教育・理科教育、JABEE、男女共同参画、等に関する活動
  - 1-8-1. 「理数系学会教育問題連絡協議会」への参加・協力
  - 1-8-2. 「日本技術者教育認定機構(JABEE)」関係
    - 1-8-2-1. 物理・応用物理学関連分野での協力
  - 1-8-3. 男女共同参画関係
    - 1-8-3-1. 男女共同参画学協会連絡会への参加・協力
  - 1-8-4. 2005 世界物理年関係
    - 1-8-4-1. 本会が企画した物理チャレンジ、Jr.セッション等のイベントを開催した。
    - 1-8-4-2. 2005 世界物理年日本委員会への参加・協力
- 1-9. 電子化・ホームページ関係
  - 1-9-1. ホームページによる本会の情報公開
- 1-10. 物理系学術誌刊行協会(IPAP)への運営協力
 

JPSJの編集・刊行を委託している「物理系学術誌刊行協会(IPAP)」への運営協力を行った。
- 1-11. 新潟県中越地震被災会員への会費免除
 

標記地震(2004年10月)被災会員に対して、申請に基づき会費1年分の免除を行った。
- 1-12. その他
  - 1-12-1. PROGRESS OF THEORETICAL PHYSICS (PROGRESS)
 

本会との共同により理論物理学刊行会が Vol. 113 No. 1~6、Vol. 114 No. 1~6 を刊行した。

B5判、月刊

ページ数：総ページ数 2,834 月平均 236(予算 200)

刊行部数：総刊行部数 12,150 月平均 1,012(予算 1,050)

掲載論文数：本論文 142 Letters 13

なお上記のほか Supplement No. 157~160 の4冊を刊行した。

## 2. 処務の概要

### 2-1. 総会・役員会等に関する事項

#### 2-1-1. 総会

##### 2-1-1-1. 第79回通常総会

3月24日(木)夕方、第60回年次大会(東京理科大学野田キャンパス)の会場で開催した。2004年度事業報告書(会員の異動状況報告書を含む)・収支決算報告書、2005年度事業計画書・収支予算書が原案通り承認された。また、第62期会長(坂東昌子氏)、第61期~62期理事、第61期~62期監事、第61期~62期代議員を選出した。

##### 2-1-2. 理事会

下記期日に開催した。

第456回	1月13日	第457回	2月5日	第458回	3月8日	第459回	4月9日
第460回	5月14日	第461回	6月11日	第462回	7月9日	第463回	8月19日
第464回	9月3日	第465回	10月8日	第466回	11月12日	第467回	12月10日

##### 2-1-3. 特別委員会

下記期日に開催した。

##### 2-1-3-1. 会誌編集委員会議

1月15日 2月19日 3月19日 4月16日 5月21日 6月18日 7月16日  
8月18日 9月17日 10月15日 11月19日 12月17日

##### 2-1-3-2. JPSJ 編集委員会議

1月18日 2月14日 3月10日 4月8日 5月10日 6月13日 7月11日  
8月2日 9月14日 10月12日 11月9日 12月7日

##### 2-1-3-3. 刊行委員会議

4月9日

##### 2-1-3-4. 受賞候補等推薦委員会議

1月20日 7月20日 9月29日

- 2-1-3-5. 論文賞選考委員会議  
2月10日
- 2-1-3-6. 物理学史資料委員会議  
3月15日 8月9日 10月15日
- 2-1-3-7. 物理教育委員会議  
2月8日 4月16日 6月18日 7月23日 9月17日 10月29日
- 2-1-3-7-1. 大学の物理教育編集委員会議  
1月22日 2月12日 2月19日 5月21日 6月11日 6月25日 8月18日  
9月17日 10月15日 10月22日
- 2-1-3-8. 広報委員会議  
3月2日 12月2日
- 2-1-3-9. JABEE 委員会議  
6月24日
- 2-1-3-10. 男女共同参画推進委員会議  
3月5日 3月27日(拡大) 4月30日
- 2-1-3-11. 情報システム運用委員会議  
5月17日
- 2-1-3-12. 領域委員会議  
5月25日 11月25日
- 2-1-3-13. 事務局運営委員会議  
(上記会議としてではなく、適宜理事会で検討を行った。)
- 2-1-3-14. Jr. セッション委員会議  
8月30日 12月16日

2-1-4. その他

上記のほか財政問題検討委員会、会計理事会議および理事会・特別委員会内に設置された小委員会議、等を必要に応じて開催した。

2-2. 許可、認可および承認に関する事項

申請月日	申請先	申請事項	指令月日
(なし)			

2-3. 契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の種類	期間
9月8日	(株)東京洋紙店	「日本物理学会誌」用紙供給に関して	1年

3. 会員の異動状況

会員種別	会 員 数		増 減
	2004年12月31日現在	2005年12月31日現在	
正会員	17,664 <sup>1)</sup>	17,335 <sup>2)</sup>	-329
学生会員	168	141	-27
賛助会員	101(397口)	101(386口)	0 (-11口)
特別会員	986 <sup>3)</sup>	957 <sup>4)</sup>	-29
計	18,919		

1) うち名誉会員2、終身会員611、大学院生で学生会員会費適用者2,628

2) うち名誉会員2、終身会員600、大学院生で学生会員会費適用者2,304

3) 会誌：国内312 国外4、JPSJ：国内206 国外464

4) 会誌：国内295 国外4、JPSJ：国内198 国外460

# World Year of PHYSICS 2005

2005世界物理年委員会

— 行事一覧 —



WYP2005@jps.or.jp

## 1. 会誌連載記事

- 2005世界物理年によせて—アインシュタインから 湯川・朝永へ—  
(2006/1)
- 2005世界物理年によせて—仁科芳雄と原子物理学のあけぼの—  
(2005/12)
- 2005世界物理年によせて—物理チャレンジ2005報告 (2005/11)
- 2005世界物理年によせて—講演会「信越地域の中学・高校生に物理学研究の感動を」を終了して— (2005/10)
- 2005世界物理年によせて—世界物理年日本委員会春のイベント「物理・ひと・未来」— (2005/09)
- 2005世界物理年によせて—自己実現への一歩—世界物理年関西委員会— (2005/08)
- 2005世界物理年によせて—世界物理年日本委員会春休みイベント「めざせ！ 未来のアインシュタイン—対話を通して知る物理の最前線」—  
(2005/07)
- 2005世界物理年によせて—年次大会の新芽—Jr.セッション報告—  
(2005/06)
- 2005世界物理年によせて—講演会「信越地域の中学・高校生に物理学研究の感動を」;経過報告— (2005/05)
- 2005世界物理年によせて—世界物理年における広義の教育活動—  
(2005/04)
- 2005世界物理年によせて—清く貧しく世界物理年— (2005/03)
- 2005世界物理年によせて—巷に、もっと物理を— (2005/02)
- 2005世界物理年によせて「日本の物理学100年とこれから」連載開始にあたって (2005/01)
- 2005世界物理年によせて—明日に架ける橋—Jr.セッション—  
(2004/12)
- 2005世界物理年によせて—ご協力ありがとうございます—企画「子供たちに物理の楽しさを」;経過と進展— (2004/11)
- 2005世界物理年によせて—「物理チャレンジ2005」を成功させよう—  
(2004/10)
- 2005世界物理年によせて—物理学の魅力を伝える— (2004/09)
- 2005世界物理年によせて—男女共同参画、科学と社会— (2004/08)
- 2005世界物理年によせて—国際会議を宣伝の場に！— (2004/07)
- 世界物理年はチャレンジの年 (2004/06)
- 2005世界物理年によせて—子供たちに物理の楽しさを— (2004/05)
- 世界物理年に向けての動き (2004/04)
- 2005年は世界物理年です！—会員の皆様のアイデアを募集します—  
(2004/01)

## 2. イベント

- Jr.セッション (2005年3月)  
日本物理学会 第60回年次大会(東京理科大学 野田キャンパス)で、高校生を対象としたジュニア・セッションを開催！
- 物理チャレンジ2005(2005年8月)

仁科芳雄生誕の地、岡山で全国規模の物理コンテストを共同開催！

- 子供たちに物理の楽しさを  
2004年9月10日発行の「子供の科学(10月号)」より好評連載中！
- サイエンス・ドリーム——理科のすすめ——（2004年10月～）  
世田谷区教育委員会と共同で区の中학생を対象に土曜講座を開催！
- 信越地域の中学・高校生に物理学研究の感動を（2005年7月）  
長野栄村および周辺地域の中学・高校生に、小柴昌俊さん、中村修二さんが研究の苦闘と成功の感動、努力について語る講演会
- 自然の不思議——物理教室  
国立科学博物館、日本物理教育学会と共催で年5回開催！
- 日本物理学会2005年度公開講座  
奇跡の年から100年—アインシュタインの3つの理論高校生・一般の方を対象とした無料の公開講座です！
- カーナビから宇宙まで——アインシュタイン理論の現在と未来——（2005年7月2日）  
京都大学基礎物理学研究所で市民向けの世界物理年協賛イベント開催！